

# 鎌田 慧（かまた・さとし）

## 1、プロフィール

昭和 45 年頃よりルポルタージュ作家として雑誌「現代の眼」「中央公論経営問題」などに作品を発表する。『ドキュメント隠された公害』を始めとして、現代を鋭く追求する。

<生没>

1938(昭和 13)年6月 12 日 ~

<代表作>

『死に絶えた風景』『自動車絶望工場』『血痕』『六ヶ所村の記録』『鎌田慧の記録』全6巻

<青森との関わり>

弘前市に生まれ、市立朝陽小学校、市立第四中学校、県立弘前高等学校と進み、上京後、3年間工場で働いた。

## 2、作家解説

弘前市立朝陽小学校、市立第四中学校、県立弘前高等学校と進み、上京。3年間町工場で働き、昭和 35 年早稲田大学文学部露文学専修に入学した。39 年卒業後、鉄鋼新聞社に入社、41 年雑誌「新評」編集部に移職し、<対象にもぐりこみ体験取材する>独自の метод論を磨いた。43 年退職してフリーライターとなった。

45 年『ドキュメント隠された公害』を出版したのを初めとして、その後多くのルポルタージュを世に問うた。平成3年まで、出版点数は 89 冊を数えている。

平成元年に刊行した『反骨―鈴木東民の生涯』は、翌年新田次郎賞を、また3年に刊行した『六ヶ所村の記録』全2巻は毎日出版文化賞を受賞した。

3年には岩波書店より『鎌田慧の記録』全6巻が刊行された。

### 3、資料紹介

○『鎌田慧の記録』全6巻

図書

1991(平成3)年5月27日～10月25日

195mm×137mm

これまで多くの優れたルポルタージュを刊行しているが、この『鎌田慧の記録』は雑誌などに発表されたものの中から自選したルポルタージュ集である。各巻末に載せる第一線で活躍するルポルタージュ作家との対談も面白い。